

第61期 中間報告書

2019年11月1日 ▶ 2020年4月30日



株式会社
オービス
ORVIS 証券コード：7827

トップメッセージ



代表取締役社長 中浜 勇治

株主の皆様へ第61期中間報告書をお手もとにお届け申し上げるにあたりまして、日ごろのご愛顧とご支援に厚くお礼申し上げます。

当第2四半期累計期間(2019年11月1日～2020年4月30日)のわが国経済は、各種政策効果もあり、雇用情勢や所得環境の改善が続く中、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、通商問題及び中東地域を巡る情勢に加え、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大など、国内外の景気の先行きについては、より一層不透明感が強まっております。

このような環境のもと、当社は「中期経営計画チャレンジ110(イチイチゼロ)」(2019年11月～2022年10月)の初年度となる今年度は、成長戦略の一層の進展を加速させ、中核事業である木材事業の通期営業黒字化を必達目標として掲げ、業績の立て直しを図る基盤整備の1年といたしております。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援、ご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

木材事業 63.3%

■事業内容
ニュージーランド松及び国産杉を原材料とした梱包用材等の製造・販売、全国から杉・桧・北海道カラ松等の国産材(商材)の仕入を行い、販売を行っています。

■当中間期の概況
梱包用材等の受注環境は、米中貿易戦争や新型コロナウイルス感染拡大の影響により輸出梱包は軒並み低調で、先行きが全く見通せない大変厳しい事業環境が続いております。このような環境のもと、業界のリーディングカンパニーとしての広範な販売網を生かし、小口配送及び即納体制で供給できる強みを最大限発揮するなど、きめ細かな営業活動を通じ、お客様ニーズの取り込みを図ってまいりました。これにより、製商品の出荷量は前年同四半期比 4.0%増加いたしました。また、福山工場の機械オペレーションについても、製材工員の育成によるノウハウの蓄積や業務習熟度の向上によって、時間当たりの生産効率は一段と高まっております。

売上高	営業損益 (単位百万円)
2715	19.4
2807	20.4
	▲89

売上高構成比 (%)

31.4% ハウス・エコ事業

■事業内容
プレハブハウスの製造・販売、仮設建物等のリース、一般建築及び太陽光発電システムの請負、自然エネルギー等による発電事業を行っています。

■当中間期の概況
ハウス・エコ部門は、慢性的な労働力不足や原材料費の高騰等による採算性の低下、受注獲得に向けた業者間の競争激化など、変化し続けるビジネス環境への対応が求められ、依然として厳しい事業環境が続いております。このような環境のもと、施工管理体制の強化と市場の変化を先取りした提案型営業の推進など、各営業施策の強化に努めることで、徹底したコストダウンと顧客満足度の向上に努めてまいりました。また、鉄骨製作工場認定制度に基づくMグレードの資格取得に向けたプロジェクトチームを立ち上げ、今後の受注獲得に向けた新技術や製品開発を積極的に推進し、技術及び品質において更に高い評価をいただける集団づくりに取り組んでまいりました。太陽光発電売電部門は、天候が良好で日射量が多く、売電量が前年同四半期に比べ増加いたしました。

売上高	営業損益 (単位百万円)
1941	19.4
1394	20.4
	208
	226

不動産事業 1.0%

■事業内容
広島県広島市及び福山市において、不動産の賃貸(4棟)を行っています。

■当中間期の概況
賃貸物件の定期的な保守メンテナンス及び住宅設備機器の更新を行うことで入居率及び定着率の向上を図ってまいりました。

売上高	営業損益 (単位百万円)
46	27
46	30

4.3% ライフクリエイト事業

■事業内容
山口県周南市において、ゴルフ場(中須ゴルフ倶楽部)と広島県福山市において、フィットネスクラブ(スポバル福山緑町店)の運営を行っています。

■当中間期の概況
ゴルフ場部門は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための外出自粛要請などにより、大変厳しい状況で推移いたしました。フィットネス部門は、近郊において24時間型フィットネスジムの新規出店が相次いだことに加え、新型コロナウイルス感染拡大の場所として各種メディアに取り上げられたことにより、営業規模縮小や臨時休館などの対応を余儀なくされました。

売上高	営業損益 (単位百万円)
211	13
189	6

※営業損益につきましては、全社費用等配分前で記載しております。

中期経営計画の状況

当社は、2020年度から2022年度における3年間の中期経営計画「チャレンジ110（イチイチゼロ）」において、売上高、ROE（自己資本利益率）及び業務効率向上という3つの主要目標を設定しております。

中期経営目標

売上高及び当期純利益

最終年度の2022年10月期に売上高11,580百万円、当期純利益429百万円を目指す

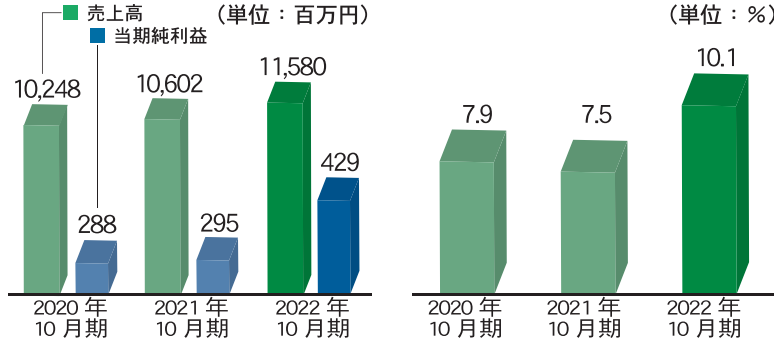
ROE（自己資本利益率）

最終年度の2022年10月期にROE10%を目指す

業務効率向上

最終年度の2022年10月期に2019年10月期対比で業務効率率10%アップを目指す

年度別目標



- 生産効率の向上
- クレームの削減
- 基幹システムの更新
- 日常業務の見直しによる無駄の削減

財務諸表(要旨)

貸借対照表

(単位: 百万円)

科目	前期 (2019年10月31日)	当中間期 (2020年4月30日)
資産の部		
流動資産	5,596	5,894
固定資産	8,806	8,508
資産合計	14,402	14,403
負債の部		
流動負債	3,938	4,297
固定負債	6,897	6,471
負債合計	10,835	10,769
純資産の部		
株主資本	3,556	3,631
評価・換算差額等	10	2
純資産合計	3,567	3,634
負債純資産合計	14,402	14,403

損益計算書

(単位: 百万円)

科目	前中間期 [2018年11月1日から 2019年4月30日まで]	当中間期 [2019年11月1日から 2020年4月30日まで]
売上高	4,913	4,438
売上総利益	649	779
営業利益	41	176
経常利益	7	145
税引前四半期純利益	16	145
四半期純利益	61	102

キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

科目	前中間期 [2018年11月1日から 2019年4月30日まで]	当中間期 [2019年11月1日から 2020年4月30日まで]
営業活動によるキャッシュ・フロー	47	632
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28	△76
財務活動によるキャッシュ・フロー	163	△373
現金及び現金同等物の四半期末残高	583	530

会社概要・株式情報 [2020年4月30日現在]

会社概要

商号 株式会社オービス
 設立 昭和34年(1959年)11月
 資本金 688,390,132円
 従業員数 182名(外、平均臨時雇用者26名)
 本社所在地 広島県福山市松永町六丁目10番1号
 監査法人 有限責任 あずさ監査法人

役員 (2020年6月12日現在)

代表取締役社長 中 浜 勇 治
 専務取締役 梅 田 孝 史
 常務取締役 谷 本 泰 泰
 取締役 井 上 清 輝
 取締役 土 田 光 典
 取締役 川 岡 公 次
 取締役(社外) 小 山 幹 夫
 常勤監査役(社外) 北 村 憲 由
 監査役(社外) 長 井 紳 一 郎
 監査役(社外) 近 藤 哲 英

株式の状況

発行可能株式総数 7,000,000 株
 発行済株式総数 1,738,596 株
 株主数 1,395 名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
中 浜 勇 治	286,461	16.49
㈱ 和 幸	164,300	9.46
中 浜 勇	142,937	8.23
鹿野産業㈱	56,900	3.27
㈱SBI証券	48,500	2.79

(注) 自己株式1,178株を控除して持株比率を計算しています。

株主メモ

事業年度 毎年11月1日から翌年10月31日まで
 定時株主総会 毎年1月開催
 一単元の株式数 100株
 基準日 定時株主総会 毎年10月31日
 期末配当 毎年10月31日
 中間配当 毎年4月30日

公告の方法 電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法で行います。
 [公告掲載 URL]
<http://www.orvis.co.jp/kessan/index.htm>

上場証券取引所 東証 JASDAQ スタンダード
 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
 (郵便物送付先) 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-288-324